

予備費の補正・振替について

2008年9月17日

2008年9月15日バージョンより予備費の振替について学校法人会計基準どおりの決算書が作成できるようになりました。予備費の補正は「振替としての補正」と「振替でない補正」の2種類があります。「振替としての補正」のみ使う場合は科目追加をしない方法①が良いと思います。両方使う場合は科目追加をする方法②をとってください。

方法①

振替科目を使用しない場合・・・予備費の補正額は全て振替として使用する場合

予算設定にて補正額の欄に振替分をマイナス金額で入力します。

消費収支科目	資金収支科目	次年度消費収支予算	次年度資金収支予算					
code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4	予 算	
59000	(予 備 費)	500,000	-20,000				480,000	
59010	(予備費)	500,000	-20,000				480,000	
59100	消費支出の部合計	1,000,000					1,000,000	

決算書にて確認

上段 () に振替分が表示されます。

下段には予備費の残額が表示されます。

(予 備 費)	(20,000					480,000	
消費支出の部合計		1,000,000			0		1,000,000	

方法②

振替科目を使用する場合・・・予備費の振替と予備費の補正を区別したい場合

手順1) 初期設定メニューの科目設定にて次の科目を追加してください。

勘定科目 (B/S,P/L)

(予備費振替)

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)							
科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
57000	徴収不能額	3	2	0					
57010	徴収不能額	0	2	0				16	
59000	(予備費)	3	2	0			991		
59010	(予備費)	0	2	0			990		
59020	(予備費振替)	0	2	0			999	990	
59100	消費支出の部合計	4	2	0					
59110			2	0					

資金収支の科目 (C/F)

(予備費振替)

勘定科目(B/S,P/L)		資金収支の科目(C/F)						
連番	科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	FlgG	FlgH
1010	59000	(予備費支出)	3	2	0		991	
1020	59010	(予備費支出)	0	2	0		990	
1025	59020	(予備費振替)	0	2	0		999	990
1030		資金支出調整勘定	3	2	0			

手順2) 予算設定の補正額欄にて

予備費の振替分をマイナス金額で入力します。

消費収支科目	資金収支科目	次年度消費収支予算	次年度資金収支予算				
code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4	予算
59000	(予備費)	1,000,000	-5,000				995,000
59010	(予備費)	1,000,000					1,000,000
59020	(予備費振替)		-5,000				-5,000
59100	消費支出の部合計	30,960,000	50,000				31,010,000

予備費の補正は(振替ではない)予備費欄に入力します。

消費収支科目	資金収支科目	次年度消費収支予算	次年度資金収支予算				
code	科目名	当初予算	補正額1	補正額2	補正額3	補正額4	予算
59000	(予備費)	1,000,000	-5,000	200,000			1,195,000
59010	(予備費)	1,000,000		200,000			1,200,000
59020	(予備費振替)		-5,000				-5,000
59100	消費支出の部合計	30,960,000	50,000	200,000			31,210,000

確認) 決算書では次のように表示されます。

上段 () に振替分が表示されます。

下段には予備費の残額が表示されます。

(予備費)	(5,000)					
		1,195,000					1,195,000
消費支出の部合計		31,210,000		27,819,067			3,390,933
当年度消費支出超過額		△4,309,000		△2,357,919			